

編輯たより

前略、編輯便りと云へば、縁日の見世物屋の口上みたい、手前味噌ばかり並べたがる手合の多き中に、近頃の工事畫報の編輯後記は、そんな氣が少しもなく、内容の堅實さと比較して趣き大いに變り、

×

毎號面白く拜見致し居候云々
 神戸のS生と云ふ讀者から、こんな手紙を頂いた。何だかすぐつたい様な妙な氣持ちがする。勿論、女子供相手の雑誌ではなし、しかもまだ出来てゐないものに就てならとも角も、立派に印刷せられた内容を前にして、これこそ世にも大した記事であるなど、見世物屋まがひの聲を張り上げて、プロバカンダして見たとて、仕方なからうではありませんか、失禮な申分だが、私は工事畫報の讀者諸彦を、人に云はれなければ物の値打も分らない様な人々だとは思つて見た事もないのです。だからこそ内容に蛇足的説明を加へて手前味噌を並べる代りに、駄文を草して責をふさぐ事にしてゐるのです。

×

それが、思はざりき、S生の様な人から愛讀せらるゝ事にならうとは。それならせいぜい名刺をものするのでしたに。尤も世の中には不勉強な人々が仲々に多くて、雑誌でも新聞でも六號記事やゴシップ欄だけ拾ひ讀みして、肝心の記事は別に取つて置く輩もあることばある。然しわが工事畫報にあつては、一般の雑誌と違ふから、編輯後記などそうまで問題になる虞れはないと、實はタカをくゞつて、勝

手放題に書きなぐつてゐたのです。茲でそうは云つても、私はしかしその態度を改めようとはしないのでせう。何故ならば工事畫報は本質的には何等の主觀をもさしはさむ餘地なきものなのですし、私はほんのちよつびりにもせよ、せめて編輯便り位には主觀的なものゝとり上げて書いて見たいと思ひます故。

×

さてそれはそれとして、すっかり春らしくなりました。日曜日の午後、郊外を散歩すると茶の株の蔭には名も知らぬ小さな花が咲き出して、もち草を摘む子供達の目をよるこぼせてゐます。此の雑誌が皆様の手許に届く頃には、おそらく櫻が一輪二輪ほころびそむるでありませう。

×

櫻と云へば、レコード會社奴は既に早く人々がオーバの襟を立てゐた頃から、さくら音頭と云ふ俗悪な愚にもつかぬレコードをつくつて、津々浦々にまでその淺薄な音律を響かせ、人々からなげなしの金を絞りあげ、剩へ青年(時には老年諸氏)男女を益々浮薄ならしめてゐる。漫畫ならばとも角も、現在非常時の日本に於て之ではまことに歎かわしいではありませんか。

×

親愛なる讀者諸君よ、諸君の友人にして若しタカがレコード會社風情に踊らされてゐる人があつたならば、よろしく注告してそれを覺醒させてやり、工事畫報でも買つて見る様にすゝめて下さい。之は負け惜しみでも何でも無い、本音なのです。

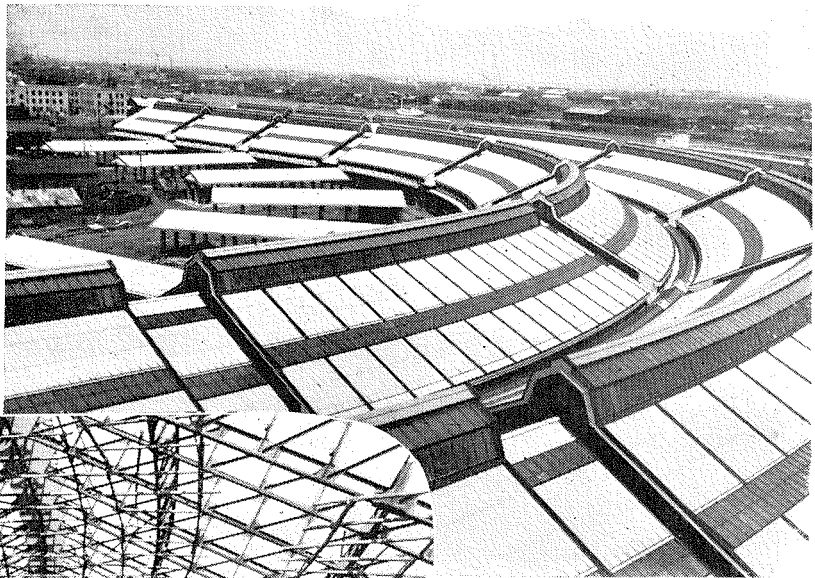
(3-27. Rkr)

土 木 工 事 畫 報		第十卷 第四號	定價七十錢 (稅二錢)	每月一回一日發行 二ヶ年十二册發行
購 讀 料	昭和九年 三月廿六日印刷納本 昭和九年 四月 一日發 行		廣 告 料	
壹 部 七十錢 稅二錢 參ヶ月 貳 圓 稅 共 六ヶ月 四 圓 同 一ヶ年 八 圓 同 外國一部 七十八錢 稅 共	編輯兼印 刷發行人 岡 崎 保 吉 東京市豊島區長崎仲町二丁目三六二九		本誌に廣告掲載御希望 の向は御一報次第社員 參上御相談に應ず。	
注文は總て前金、送金 は必ず振替貯金にて、 東京七〇貳六五番拂 込の事、但し六ヶ月以 上の申込は御希望によ り集金郵便を差出し ます。	印刷所 共同印刷株式會社 東京市小石川區久堅町百八番地		大 賣 捌 所	
	發行所 工 事 畫 報 社 東京市麴 町 區 丸ノ内三丁目六 電 話 丸ノ内二六三三番 振 替 東京七〇貳六五番		東京堂・東 海 道 大 東 館・北 隆 館	

浅野波形板

(石棉セメント製)

型
錄
贈
呈



東京中央卸賣市場
浅野波形板葺ノ壯觀

浅野スレート株式会社

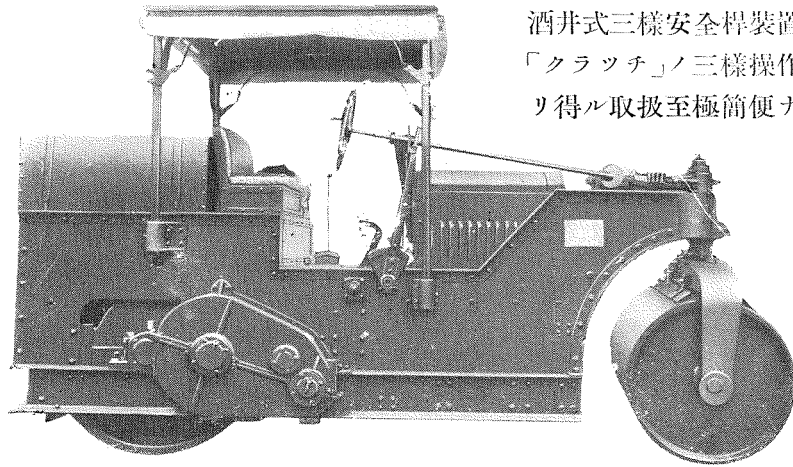
東京市京橋區銀座六丁目三
電話銀座 5841・5842・5843・5844・5845・5846

大 阪 門 司 名 古 屋 札 幌 京 城 仙 臺

北區中之島五ノ八 門司市白木崎 中區南鍛冶屋町三 北三條東四丁目 漢江通十三 東三番丁一一一
電 話 8205・8206 電 話 548 電話中局 1097 電話長 598 電話龍山 742 電 話 2030
土佐堀 8207 電 話 1931 電 話 2096 電 話 1226



サカ井 瓦斯倫及重油機関車と ロードローラー



酒井式三様安全桿装置ハ前後進及變速並ニ「クラッチ」ノ三様操作ヲ單一ノ把手ニテ司リ得ル取扱至極簡便ナル物ニテ且堅牢ナリ

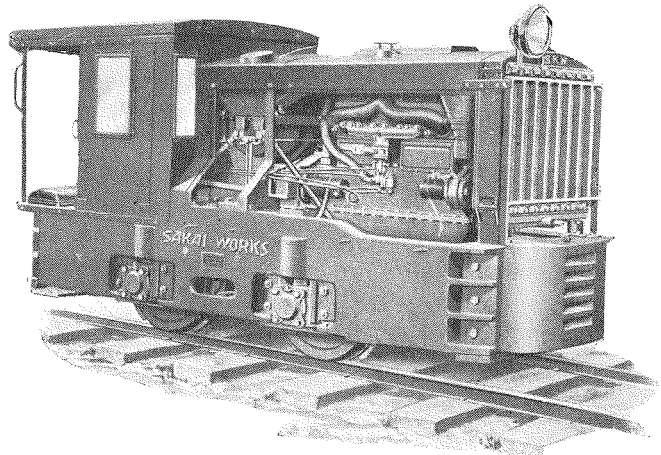
新案特許第一八三六九號
特許出願二種

(内務省納入三様安全桿装置附八廻ロードローラー)

最近ノ納入先及
取扱諸會社

三井物産株式會社
米井商會
日本鐵道株式會社
各府縣會社
内務省
陸海軍省
農務省

弊所は瓦斯倫機關車及軌道自動車製作の本邦に於ける元祖にして各種ロードローラー及交通と運搬の諸機械製作に於ても共に古き經驗を有しをれば何れも取扱簡便にして特長ある構造を保有し價格の低廉は本邦唯一たる専門工場賜であります。



SKW 内燃機關車

營業種目

構内小型運搬車
軌道自動車
ディーゼル機關車
瓦斯倫機關車
ロードローラー

諸官廳御用

酒井 工 作 所

所主 酒井金之助

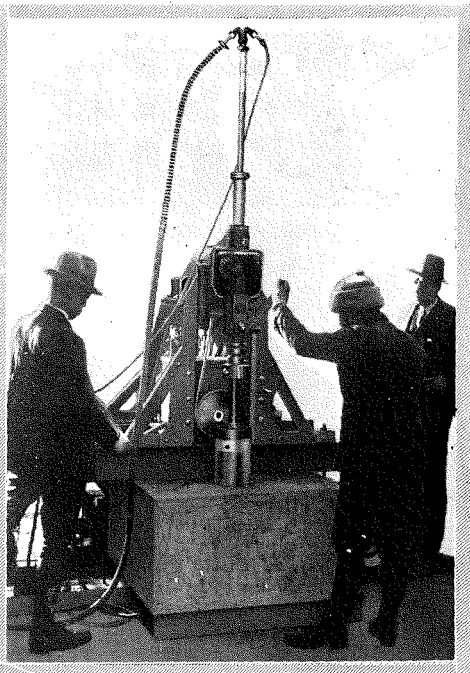
東京市芝區芝浦町三丁目一番地・電話三田(45)九三〇番

ヤマト式 コンクリートテストピース 採取機

テストピース及採取用具の一部

本機の特色

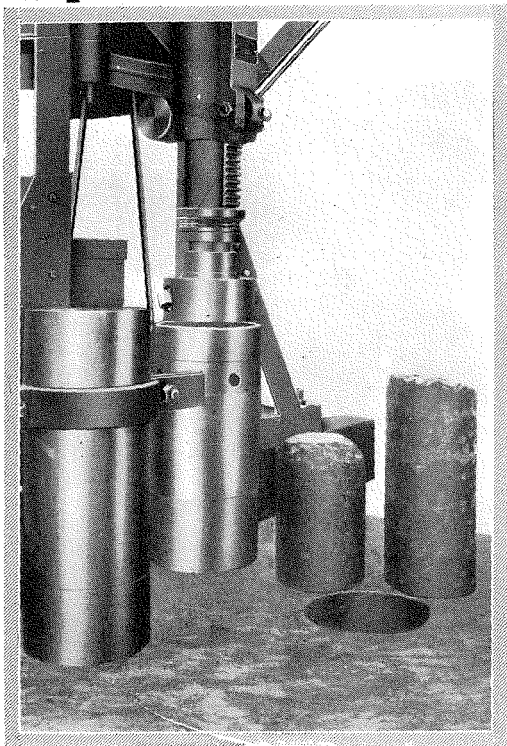
1. コンクリートテストピース採取機なれども浅尺用の試錐機としても兼用が出来る。
2. 小型原動機を機體に取付け、全機體を最小限度に縮少し機體の幅480耗(約一呎七吋)長さ1,200耗(約四呎)にして橋臺桁坐面の如き狭長な場所にも容易に据ゑ付けられる。
3. 試錐中に於けるポンプ送水量と循環上昇水量との比較並に供試體(テストピーススコープ)に依つて或る程度迄コンクリートの練り方、打ち方の様子が窺ひ知れる。
4. コンクリート工施行が不良で吸水の多い場合には試錐孔を利用して「セメントミルク」の注入を行ひ補強工事が出る。
5. 道路舗装コンクリート工から供試體を採る場合には本機の機體を一般に砂利、砂運搬用のトラック上にのせ「トラック」のエンジンを原動機として利用し得られ小型原動機の必要がない。
6. 「ダイヤモンド」を使用しないから工費が低廉である。



本機の使命

コンクリート工事は何故仕様書通りに其の實際の施工が行はれないであらうか?之れ即ち「コンクリート工は打つて終へば表面だけで内部はどうなつて居ても知れないものだ」と云ふ觀念が一般に普及せられて居るからである。然るに本機の使用に依りこの永年の難問難が解決出来る。即ちコンクリート構造物自體の任意の箇所から供試體(テストピースを)極く手軽に採取する事が出来るのが本機の特長で之れが抗壓強度を試験してこそ設計者は自信を以つて最も經濟的なコンクリート構造物から供試體を切り取つて検査されるとなれば最初からその施工を注意するのが人情の自然ではあるまいか。ここに始めて仕様書通りの理想的コンクリート工事が實現せらるるわけである。

コンクリートテストピース採取實況



ヤマト工作所

東京市小石川區柳町二九番地
電話小石川(85)〇九五六番

總代理店

淺野物産株式會社機械部



資社
合會

東京衡機製造所

代表社員 工學博士 伊東久米藏

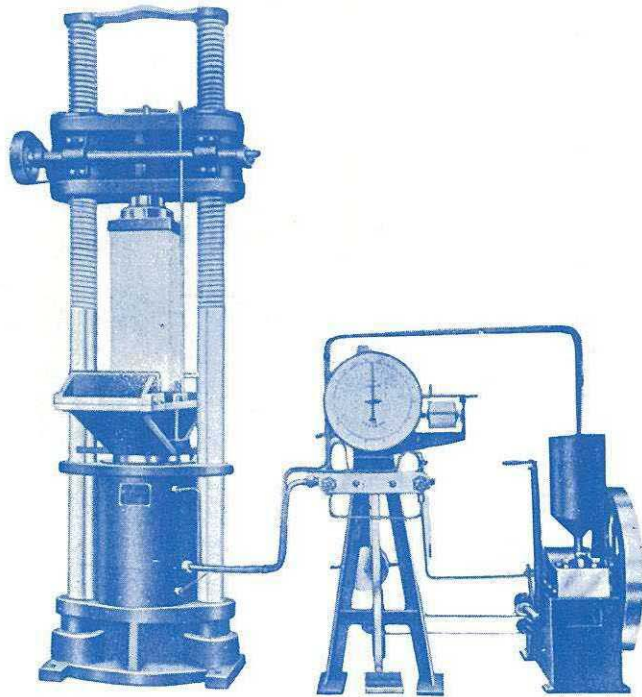
本店 東京市麴町區丸ノ内二丁目六番地
工場 東京市品川區北品川四丁目五一六番地

電話丸ノ内(23)一七八七番 一九二四番
電話高輪(44)一八八五番

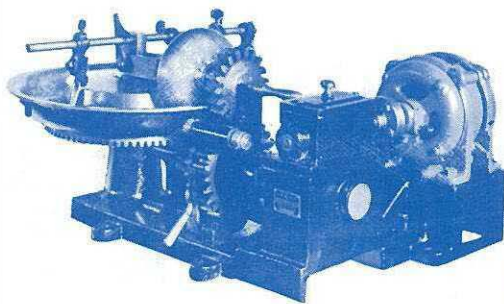
營業科目

各種材料試驗機
各種材料試驗機
各種材料試驗機
各種材料試驗機
各種材料試驗機

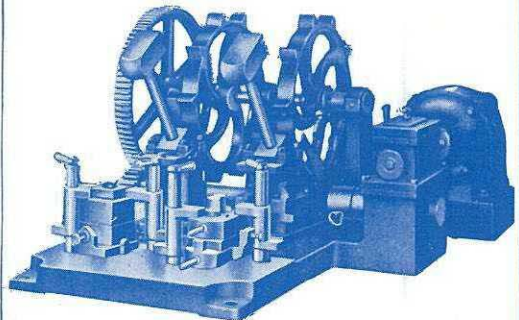
各種材料試驗機
各種材料試驗機
各種材料試驗機
各種材料試驗機
各種材料試驗機



東京衡機アムスラー型三百越耐壓及彎曲試驗機
特許東京衡機式改良振子動力計附



商工省標準「セメント混合機」
(スタインブリックシユメルツァー型)



商工省標準鐵粉機(ペーメマルテンス型)

THE "KOJI GAHO"

AN ILLUSTRATED CONSTRUCTION REVIEW

VOL. 10, NO. 4

Published Monthly by the Koji-Gaho-sha

Tokyo Japan

大正十四年七月二十八日
昭和九年三月二十八日
第三種郵便物認可
月刊一冊
一月一回發行

土木
建築
工事
叢報
第十卷
第四號

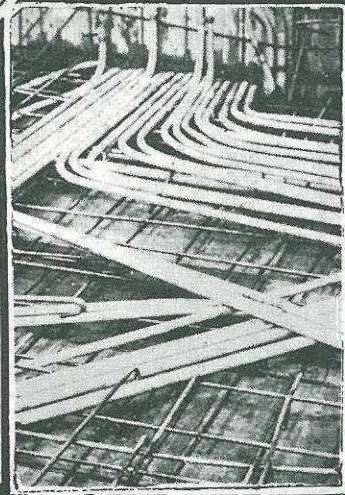
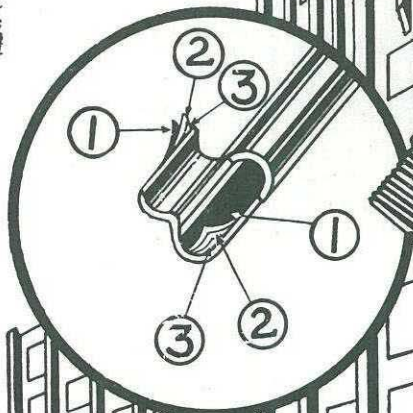
國産・品質第一 マツダコンヂット シエラーダイズド

特徴

錆びない、曲げ易い、
永久的、國産優秀品

説明

- ① エナメル被覆
- ② 純亜鉛被覆
- ③ 亜鉛銅合金被覆



定價 金七拾錢 送料二錢

神奈川県 東京電氣株式会社 川崎市